

劇団
態
変

しろ
は
な
び
ら
の
う
た

白
花
弁
の
歌

劇団態変第74回公演

『白花卉の歌(しろはなびらのうた)』 公演企画書

会場 AI HALL (伊丹市立演劇ホール)

2022年

11月11日(金)19:30

11月12日(土)14:00 / 18:30

11月13日(日)12:00 / 16:30

劇団態変(企画・製作) 大阪市東淀川区西淡路 1-15-15

TEL/FAX 06-6320-0344 taihen.japan@gmail.com

公演概要

劇団態変第74回公演

『白花卉の歌(しろはなびらのうた)』

作・演出・芸術監督 = 金満里

音 = かつふじたまこ

出演 = 金満里 小泉ゆうすけ 下村雅哉 田岡香織 渡辺綾乃 池田勇人 山崎ゆき

[日時] 2022年

11月11日(金)19:30★1

11月12日(土)14:00 / 18:30★2

11月13日(日)12:00★3 / 16:30

★の回は終演後アフタートークを行います。

★1=サイトウマコト(振付家/ダンサー)×金満里

★2=倉田めば(大阪ダルクディレクター/パフォーマンスアーティスト)×金満里

★3=田口ランディ(作家)×金満里

[会場] AI HALL(伊丹市立演劇ホール)

[チケット] 日時指定・全席自由

【前売り】

一般 3,500 円 障害者/介助者 各3,000 円

22 歳以下 2,500 円 12歳以下 1,000円

ギフトチケット 3,500円(枚数限定)

【当日】 一律 4,000 円

[ご予約]

① カンフェティ

<http://confetti-web.com/taihen-74/>

② アイホール

TEL 072-782-2000(9:00~22:00/火曜休館)

③ 劇団態変

web予約 <http://www.asahi-net.or.jp/~tj2m-sn/jy/form/ticket2.html>

TEL 06-6320-0344

[スタッフ]

舞台監督	大田和司
美術	吉田顕
照明	海老澤美幸
音響	勝藤珠子
衣装	坂本式子
メイク	倉橋かおり
宣伝美術	東學(188)

芸術文化振興基金助成事業

※本公演は、各関係機関の新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドラインに基づき、必要な対策を講じて行ないます。しかし今後の状況次第ではやむを得ず開演時間の変更や公演中止となる可能性もございます。最新情報は公式ホームページにて随時お知らせしてまいります。

劇団態変第74回公演

『白花卉の歌(しろはなびらのうた)』

あの世とこの世の狭間に現れる、幻の白花卉、を、身体で降らせる舞台。

得体のしれない大きな力に拮抗し在る“態変の身体表現”を、その内側からの魂の静かさを逃さず舞台上に表現していきます。

汚濁にまみれきった世界にあって、何が真で何が偽か分別のない危うさに、人類は晒されている今。だから態変は、敢えて、純粋な人の心を問題にしたいと考えました。それは、死への願望を見つめ、だからこそ生と死の境界面が初めてわかる、ただ在る、ことの光を見つけ出します。

ですから『白花卉の歌』は、「生」をあらゆる角度から捉え返し、現わしてきたこれまでの態変の多くの作品とは一線を画します。自然も人間の身体も、一つの宇宙に溶けるとき、かすかに見える遠いもの、それによって奏でられる詩のような作品が、今まさに生まれようとしています。

態変の真骨頂、「抽象身体表現」への回帰

近年、態変は独自の身体表現を基本としながらも、『箱庭弁当』ではファンタジー、『心と地』ではSF、といったジャンルに挑み、ひとりひとりのパフォーマーが持つ表現の幅を広げてきました。様々なキャラクターを演じることにも挑戦してきた今だからこそ、態変の真骨頂といえる「抽象身体表現」に回帰する機がいよいよ熟したのだと考えます。

『白花卉の歌(しろはなびらのうた)』という一見ロマンチックなタイトルに乗せ、金満里が創作する今回の舞台はしかし、ただの原点回帰にとどまりません。無機質でありながら、妥協せず爆発する身体が、一転して、全く静かではるかな風景へと立ち替わるその瞬間をまさに掴もうとする未知への挑戦。それは態変の身体が、これまで最もやりたいと夢見てきた表現でもあります。

音と舞台美術、金満里演出による空間構成の魅力

金満里演出の元、緻密に舞台上に構成される音・光・美術と身体は、近年では現代美術の文脈で語られることも増えてまいりました。

本作の音の世界を担当するのは、かつふじたまこ。日常生活の中から作られる五感を刺激する音色が豊かに情景を描きます。そして舞台美術は、長年にわたって態変の舞台美術を製作してきた吉田顕。本作のひとつの要となる、「逆風の目」というモチーフに取り組みます。舞台に映し出されるその現代社会をイメージしたオブジェは、態変身体と呼応しあいどんな光景を立ち現わさせるのか。

1983年に大阪で旗揚げ公演を行ってから、態変は今年で39年目を迎えます。演劇や舞台をめぐる状況は大きく変化しつつありますが、今こそ舞台ならではの出会いを、多くの方に体験していただきたい。そこにあるべき音・光・美術が態変身体と響きながら、ともに唯一無二の空間を創り上げていく様は、長年態変舞台を観ていただいた方にも、新しい観客の方にも必ずや楽しんでいただけることでしょう。

態変の真髄としての抽象身体表現作品、たっぷりご堪能下さい。

プロフィール

金満里 (芸術監督)

日本で活躍した韓国古典芸能家・金紅珠の末娘として生まれる。3歳でポリオに罹患、全身麻痺の重度身障者となる。70年代に盛り上がった障害者解放運動での活動を経て、1983年、劇団態変を旗揚げ主宰。「身体障害者の障碍そのものを表現力に転じ、未踏の美を創り出すことができる」という芸術思想を掲げ、どこにもない身体表現芸術を創り出してきた。劇団態変では一貫して芸術監督を務め、劇団と自身のソロの作・演出・出演を行っており、今作は77作目となる。

ワークショップも国内外で開催し、「金満里身体芸術研究所」で障碍・健常を問わず、広く身体表現指導を行なう。マレーシアでは、国際交流基金と現地アーティストとのタイアップにより現地の障害者を舞台上げる3年間の国際アートプロジェクトを実施、公演を成功させた(2005年～2007年)。他、海外演劇フェスティバルからの招聘多数、韓国でも共同製作プロジェクトを行っている。

著書

『生きることのはじまり』(筑摩書房)
『私は女』岸田美智子・金満里編(長征社・絶版)
「舞う身体、這う身体」(鷺田清一編集『身体をめぐるレッスン1 夢見る身体』(岩波書店)に所収)

映画出演

「靖国・地霊・天皇」大浦信行監督(2014年)

2016年社会デザイン賞優秀賞受賞

劇団態変

劇団態変は1983年の旗揚げ以来、主宰・金満里の「身体障害者の障碍自体を表現力に転じ、未踏の美を創り出すことができる」という着想に基づき、身障者自身が演出し、演じる劇団として活動する。身体こそが身近にある小宇宙、として捉えるとき、その姿態と障害の動きとをありのままに晒すレオタードを基本ユニフォームに生み出される舞台においては、不安定にも見える態変のパフォーマーの身体こそが一瞬足りとも同じではない宇宙への感応の表現としてある。態変が表現する、ことは、生命丸ごとを投げ出すということに近く、生きる本能に目覚める身体性である。それは命の形、であり魂の表現なのだ。

一貫してのテーマは、世界の人類史に於ける優生思想の価値観を、根底から転倒させるぐらいの身障者の身体表現、である。そうであれば芸術の意味は無いとまでの強い自覚を持ち、人間の身体に対する違う価値の提示を行なう舞台身体表現を目指している。海外公演は、'92年のアフリカ・ケニア招聘公演を皮切りに、エジンバラフェスティバル・フリンジ、ベルン招聘公演、ベルリン・シュツットガルト招聘公演、マレーシア・韓国では現地アーティスト、パフォーマーとの共同公演を実施、他多数。

平成23年度、24年度、26年度、27年度、29年度、30年度文化庁芸術祭参加

2017年「劇団態変の世界 一障害者の「からだ」だからこそ」(論創社)を上梓



Photo by bozzo



Photo by Hideto Maezawa

【Facebook】 <https://www.facebook.com/taihen1983/>
【Youtube】 <https://www.youtube.com/user/gekidantaihen>
【Twitter】 @imaju_taihen 【Instagram】 gekidan.taihen

プロフィール

かつふじたまこ（音）

音作家。何気ない日常から小さな奇跡（音）を拾い集め、紡ぎ出されるその作品は、国内の他、フランス他、海外のフェスティバル、ラジオ番組でも度々上演され好評を得ている。

一方、鍵盤ハーモニカや日用品、日常のサンプリング音などを用いた即興演奏でも独自の音世界を作り出し、パリ、ベルリンでもライブを行う。

劇団態では「試験管」、さ迷える愛・三部作「翠晶の城」「箱庭弁当」「心と地」にて、音を制作。

<http://hello-tsukineco.jimdo.com/>

<https://tamakokatsufuji.bandcamp.com/>



アフタートークゲスト

11/12（金） 19:30 公演 サイトウマコト

1958年 福岡県北九州市に生まれる。

1996年より大阪府豊中市に舞踊スタジオ「齊藤DANCE工房」を設立

振付家、指導者として国内外のバレエコンクール コンテンポラリー部門において多くの上位入賞者を輩出。自身の舞踊作品としては2009年に「サイトウマコトの世界」シリーズを始動。2022年10月に伊丹アイホールにて上演された「サイトウマコトの世界vol.9 ロミオとジュリエット」で令和3年度文化庁芸術祭優秀賞を受賞。

11/12（土） 18:30 公演 倉田めば

尾道市生まれ。大阪写真専門学校卒業後フォトグラファーとして仕事をしていましたが、1993年薬物依存回復施設「大阪ダルク」を立ち上げ今日に至る。傍ら2010年頃よりパフォーマンスアート、詩、写真などの表現活動を再開。トークや、執筆などの活動も行なっている。

11/13（日） 12:00 公演 田口ランディ

1959年、東京都生まれ。作家。

2001年に「できればムかつかずに生きたい」で婦人公論文芸賞を受賞。

「コンセント」「モザイク」「富士山」「リクと白の王国」など、作品は米国、イタリア、シンガポールなど海外でも翻訳出版されている。オウム死刑囚との交流を描いた「逆さに吊るされた男」「水俣 天地への祈り」など、社会問題や宗教をテーマにした作品や旅行記、ノンフィクションなども多く手掛ける。

劇団態変 上演歴

1983.06	京都	色は臭へど 京大西部講堂	京都・大阪連続公演で旗揚げ
	大阪	色は臭へど 天三カルチャーセンター	
1984.05	東京	色は臭へど II 新宿タイニイ・アリス	アリス・フェスティバル '84
1984.12	大阪	色は臭へど II 大阪府立文化情報センター	大阪府人権週間企画
1985.06	吹田	ゲリラ・クヨクヨがおんねん	吹田メイ・シアター 行政の不手際で非業の死をとげた役者ゲリラ・クヨクヨの追悼公演
1986.05	京都	出たいねん、コンチキショウ	京大西部講堂 作：紺谷・柏木 / 脚本・演出：福森
1987.04	大阪	水は天からちりぬるを	総合福祉センター
	尼崎	水は天からちりぬるを	サンシビック・ホール
1987.10	宇治	カイゴ・香異湖・KAlgo!	神楽殿ホール
1988.04	大阪	カイゴ・香異湖・KAlgo!	生野子どもの家
1989.06	伊丹	銀河叛乱 '89 -月に接吻しただけなのです-	伊丹 AI・HALL AI・HALL 自主企画 VOL.10
1990.10	大阪	いざいほう in ながい	大阪長居公園 野外劇
1991.05	大阪	H e a l ~癒しの森	中之島剣先公園 中之島まつり協力・野外劇
1991.09	東京	銀河叛乱 '91 北沢タウンホール	主催：態変東京呼び屋
1992.03	大阪	静天のへきれき	総合福祉センター とっておきの芸術祭協賛
1992.05	伊丹	夢みる奇想天外 (ウェルウィッチア)	伊丹 AI・HALL AI・HALL 自主企画 VOL.37
1992.09	ナイロビ	Heavenly Forest (天国の森)	ナショナル・シアター Nairobi Players 招聘によるケニア三都市ツアー公演
	カカメガ	Heavenly Forest (天国の森)	ムミアス聳学校ホール
	キスム	Heavenly Forest (天国の森)	ユナイテッド インターナショナル ライフ ミニストーリー オブ チャーチス
1993.10	伊丹	「天」3部作 ~人は誰も心に森をもっている~	静天のへきれき / 夢みる奇想天外 / 天国の森 3作一挙上演 伊丹 AI・HALL AI・HALL 自主企画 VOL.50
1993.11	能勢	[P] ビジョン・クエスト (通過儀礼)	能勢じょうりシアター
1994.02	八尾	[P] ビジョン・クエスト (通過儀礼)	プリズム・ホール
1994.05	伊丹	山が動く 劇団態変&大野一雄コラボレーション	伊丹 AI・HALL AI・HALL 自主企画 VOL.56
1994.09	大阪	霊舞-地中花 ウイングフィールド	ウイングフィールド提携公演
1995.05	大阪	ダ・キ・シ・メ・タイ!!	一心寺シアター 一心寺シアター提携公演
1995.06	赤穂	[P] 霊舞~ガラスの森で	ティンカーベル
1995.07	京都	霊舞~emergence 1	法然院
1995.09	東京	ダ・キ・シ・メ・タイ!!	東京芸術劇場 東京国際舞台芸術ファスティバル '95
1995.10	名古屋	ダ・キ・シ・メ・タイ!!	厚生年金ホール
1995.11	長野	ダ・キ・シ・メ・タイ!!	長野県県民文化会館・中ホール 全国ボランティア・フェスティバル
1996.01	伊丹	宇宙と遊ぶ 劇団態変&大野一雄コラボレーション	伊丹 AI・HALL AI・HALL 自主企画 VOL.70
1996.01	神戸	[P] 霊舞~火・水・土	須佐野公園 震災メモリアルイベント「癒しと点検」出演
1996.08	エジンバラ	B L O O M ランドルフ・スタジオ	エジンバラ・フェスティバル・フリンジ '96 ジャパン・エクスペリエンスより参加
1996.10	八丈島	B L O O M 八丈島	八丈高校体育館 福祉と健康まつり
1996.12	伊丹	B L O O M	伊丹 AI・HALL AIHALL 自主企画 VOL.81
1997.01	大阪	態変 x 天鼓 LIVE!	扇町ミュージアムスクエア 扇町ミュージアムスクエア協力公演
1997.06	伊丹	死霊 (しれい)	伊丹 AI・HALL AIHALL 自主企画 VOL.86
1997.08	エジンバラ	DEPARTED SOUL (死霊)	セント・ブライズ・センター エジンバラ・フェスティバル・フリンジ '97 コンチネンタル・シフツ出演 スプリングウェル・ハウス
1997.08	ベルン	DEPARTED SOUL (死霊)	ダンフツェントラーレ 第 11 回ベルナー・タンツターゲ招聘公演
1998.03	枚方	B L O O M 枚方版	枚方公園青少年センター '98March 演劇 Zone XIII
1998.04	広島	[P] 霊舞・MOVE	南区民ホール
1998.05	福山	[P] 霊舞・MOVE	東高校ホール 主催：広島教組東分会・県立東高校障解研
1998.08	エジンバラ	MY MOTHER (ウリ・オモニ)	Theatre Workshop エジンバラフェスティバル・フリンジ '98 金満里ソロ公演 監修：大野一雄
1998.11	大阪	ウリ・オモニ	扇町ミュージアムスクエア 扇町ミュージアムスクエア協力公演
1998.11	岡山	死霊 西川アイブラザ	第 11 回岡山河畔劇場 '98 主催：おかやまアートファーム
1999.03	大阪	壺中一万年祭	トリイ・ホール 第 1 回大阪演劇祭参加
1999.05	広島	ラ・パルティエダ ~出発	アステール・プラザ中ホール 主催：劇団態変広島公演実行委員会
1999.07	東京	ウリ・オモニ	タイニイアリス アリスフェスティバル '99
1999.09	大阪	色は臭へど III	大阪築港赤レンガ倉庫敷地内特設 NGR 銀テント 第 1 回大阪野外演劇フェスティバル
1999.12	箕面	BLOOM	The14th みのお市民人権フォーラム公演
2000.03	大阪	壺中一万年祭	扇町ミュージアム・スクエア 第 2 回大阪演劇祭連携企画
2000.05	大阪	『からだは表現する』	国立民族学博物館 みんなくミュージアム劇場
2000.06	高知	ウリ・オモニ	高知県立美術館ホール 主催：劇団態変を呼ぶ会
2000.06	ベルリン	ウリ・オモニ	フォーラム・シアター・クロイツベルク 霊舞 - FRAGIL
2000.07	福島	[P] 縄文魂宇宙「身体魂宇宙」	富や蔵・ホテルサンルートいわき 第 37 回『風の祭り』主催：縄文魂の会
2000.12	大阪	ウリ・オモニ	トリイ・ホール The 6th Osaka Dance Experience
2001.02	奈良	BLOOM	生駒市せせらぎホール 主催：社会教育財団
2001.03	大阪	壺中一万年祭 2001	扇町ミュージアム・スクエア 第 3 回大阪演劇祭連携企画
2001.07	大阪	[P] Voltex Fusion ~うずまきまぜる~	IMP ホール PAMO 2001
2001.09	ベルリン	マハラバ伝説 (Die Maha-Laba Dorf Historie)	Theater Karlshorst アジア太平洋週間招聘公演
2002.02	伊丹	マハラバ伝説	伊丹 AI・HALL 伊丹アイホール共催
2002.05	読谷 (沖縄)	マハラバ伝説	読谷村文化センター 主催：劇団態変沖縄公演実行委員会
2002.09	大阪	夏至夜夢 - まなつのよのゆめ	大阪城公園太陽の広場内特設 NGR 銀テント 第 2 回大阪野外演劇フェスティバル
2002.10	那覇	ウリ・オモニ	パレット市民劇場 うないフェスティバル 2002
2003.02	可児 (岐阜)	マハラバ伝説	可児市文化創造センター 第 9 回可児市福祉芸術祭
2003.04	京都	マハラバ伝説	京都府立鳥羽高校 学校団体観賞公演
2003.09	大阪	碧天彷徨 ウイングフィールド	
2003.10	台北	My Mother Crown Theater	Little Asia dance festival

2003.02	可児 (岐阜)	マハラバ伝説	可児市文化創造センター	第9回可児市福祉芸術祭
2003.04	京都	マハラバ伝説	京都テルサ	京都府立鳥羽高校 学校団体観賞公演
2003.09	大阪	碧天彷徨	ウイングフィールド	
2003.10	台北	My Mother	Crown Theater	Little Asia dance festival
2003.11	東京	碧天彷徨	タイニイアリス	アリスフェスティバル 03
2004.06	大阪	帰郷 - ここが異郷だったのだ	Art Theater dB	
2004.09	ソウル	帰郷 - ここが異郷だったのだ	アルングジ劇場	
2004.11	大阪	ウリ・オモニ	Art Theater dB	特別企画「大野一雄 宇宙と花」
2004.12	東京	帰郷 - ここが異郷だったのだ	タイニイアリス	
2005.03	大阪	色は臭へど4	ウイングフィールド	ウイング再演大博覧會 2005
2005.06	シュトゥットガルト	マハラバ伝説 (The Legend of Maha-Laba Village)	Theaterhaus T2	Theater der Welt 2005 招聘公演
2005.10	横浜	月下咆哮 BankArt 1929	Kazuo Ohno Festival 2005	
2005.11	大阪	月下咆哮 精華小劇場 精華演劇祭 vol.2		
		記憶の森 - 塵魔王と精霊達		
2006.01	クアラルンプール	My Mother Kuala Lumpur Performing Arts Center		態変 in Malaysia プロジェクト
2006.09	大阪	ラ・パルティエダ〜出発 '06	扇町公園特設 NGR 雷魚テント	第6回大阪野外演劇フェスティバル
2006.12	東京	月下咆哮 タイニイアリス		
2007.01	福島	[P] 縄文魂宇宙「いのちの宇宙」	三春交流会館まほら・カトリックいわき教会『風の祭り』	主催：縄文魂の会
2007.01	横浜	[P] 九葉溝の龍	Kazuo Ohno Festival 2007 「百花繚乱」	出演 金満里ソロパフォーマンス
2007.02	大阪	記憶の森 メタモルホール		
2007.04	クアラルンプール	Hutan Kenangan (記憶の森)	Kuala Lumpur Performing Arts Center	
		「態変 in マレーシア」プロジェクト公演	プロジェクトで養成したマレーシア人役者による公演	
2007.04	静岡	[P] 月下咆哮より2シーンと即興	スナック・パロン	
2007.09	大阪	マハラバ伝説 黎明編	扇町公園特設 NGR 雷魚テント	第7回大阪野外演劇フェスティバル
2007.11	大阪	ウリ・オモニ / 月下咆哮 ウイングフィールド	ウイングフィールド 20周年「時代を駆ける演劇人」	
2008.01	シンガポール	My Mother (ウリ・オモニ)	The Arts House	M1 Singapore Fringe Festival 招聘公演
		Howl under the moon (月下咆哮)		
2008.01	ジャカルタ	Howl under the moon (月下咆哮)	TIM Teater Kecil	
2008.09	大阪	男は旅に出た - チェ・ゲバラ		
		すがた現すもの	扇町公園特設 NGR 雷魚テント	第8回大阪野外演劇フェスティバル
2009.05	土浦 (茨城)	マハラバ伝説	茨城県立南生涯教育センター	
2009.09	大阪	男は旅に出た2 ファン・ウンド潜伏記	大阪城公園太陽の広場特設 NGR 雷魚テント	第9回大阪野外演劇フェスティバル 参加
2010.03	大阪	天にもぐり地にのぼる	ウイングフィールド	金満里ソロ作品・3作目
2010.10	大阪	男は旅に出た3 自由からの逃走	大阪城公園太陽の広場特設 NGR 雷魚テント	第10回大阪野外演劇フェスティバル 参加
2010.11	横浜	[P] 狼 (月下咆哮〜)	BankArt Studio NYK	大野一雄フェスティバル 2010 招聘
2011.01	大阪	ファン・ウンド潜伏記	精華小劇場 精華演劇祭 2010 AUTUMN/WINTER	参加
2011.03	ソウル	ファン・ウンド潜伏記	KOUS (韓国文化の家)	韓国2都市ツアー
	固城 (慶南)	ファン・ウンド潜伏記	固城郡文化体育センター	
2011.08	大阪	ウリ・オモニ	大阪大学・21世紀懐徳堂スペース	世界演劇学会 2011 大阪大会・特別公演
2011.09	ソウル	ファン・ウンド潜伏記〜朴環珞同行の新たな旅路	南山国楽堂 朴環珞さん招聘による再演	
2011.10	伊丹	喰う	伊丹 AI・HALL	平成23年度文化庁芸術祭参加
2012.02	伊丹	福森慶之介一世一代 又、何処かで	伊丹 AI・HALL AI・HALL	提携公演
2012.05	大阪	天にもぐり地にのぼる	メタモルホール	
2012.07	沖縄	天にもぐり地にのぼる	ミュージックタウン音市場 キジムナーフェスタ 2012	参加
2012.10	大阪	虎視眈眈	ウイングフィールド	平成24年度文化庁芸術祭参加
2012.11	東京	虎視眈眈 in 駒場東邦	国立オリンピック記念青少年総合センター 小ホール	
2012.12	東京	天にもぐり地にのぼる	タイニイアリス	
2013.02	伊丹	ミズスマシ	伊丹 AI・HALL AI・HALL	提携公演
2013.07	大阪	ヴォイツェク	メタモルホール	
2013.10	大阪	寿ぎの宇宙	メタモルホール	
2013.11	広島	寿ぎの宇宙	カフェ・テアトロ アビエルト	主催：劇団態変広島公演実行委員会
2014.03	大阪	Over the Rainbow - 虹の彼方に	ABCホール	
2014.10	大阪	ルンタ (風の馬) ~いい風よ吹け~	HEP HALL	平成26年度文化庁芸術祭参加
2015.03	大阪	試験管	ウイングフィールド	
2015.07	大阪	ウリ・オモニ	メタモルホール	
2015.10	大阪	ぬえ	HEP HALL	
2016.03	東京	ルンタ (風の馬) ~いい風よ吹け~	座・高円寺1	
2016.08	大阪	寿ぎの宇宙	メタモルホール	
2016.10	大阪	ヴォイツェク	メタモルホール	
2017.03	大阪	ニライカナイ - 命の分水嶺	HEP HALL	
2017.05	愛知	幻視の郷	豊田大橋 橋の下 千石公園	橋の下世界音楽祭参加
2017.10	東京	寿ぎの宇宙	d-倉庫	
2018.01	兵庫	翠晶の城 - さ迷える愛・序	伊丹 AI・HALL AI・HALL	提携公演
2018.07	大阪	あの日から、ずっと・・・	メタモルホール	
2018.11	東京	ニライカナイ - 命の分水嶺	座・高円寺1 座・高円寺提携公演	平成30年度文化庁芸術祭参加
2019.02	東京	ウリ・オモニ	ザ・スズナリ	
2019.06	兵庫	箱庭弁当 - さ迷える愛・破	伊丹 AI・HALL AI・HALL	提携公演
2019.12	大阪	モノガタルカラダ/物語る声	メタモルホール	金満里ソロ×渡部八太夫・説経祭文
2020.02	横浜	箱庭弁当 - さ迷える愛・破	KAAT 神奈川芸術劇場 TPAM2020 (国際舞台芸術ミーティング)	招聘公演
2020.11	東京	箱庭弁当 - さ迷える愛・破	座・高円寺1 座・高円寺提携公演	
2021.11	兵庫	心と地 - さ迷える愛・急	伊丹 AI・HALL AI・HALL	提携公演
2021.12	横浜	さ迷える愛・序破急 一挙上演	KAAT 神奈川芸術劇場 YPAM2021 (横浜国際舞台芸術ミーティング)	招聘公演
2022.03	兵庫	漆黒の赤	伊丹 AI・HALL AI・HALL	提携公演

[註 1] 特に記述が無い作品は全て、作・演出：金満里

[註 2] 記号 [P] は、短時間あるいは即興パフォーマンスとして上演